

2021 年度 大学院秋季入試（政治学専攻）

博士課程（前期）

専攻科目 日本政治史演習

---

【合否判定の方法】

《外国語科目》《専門科目》《面接》

提出書類および外国語試験、専門科目、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士課程における研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日 2020 年 10 月 3 日

2 科目 （100 点満点）

日本政治史研究指導

3 出題意図

政治史研究は、政治学の諸分野の中でも最も総合的な分野の一つである。それは人物と制度、内政と外交、歴史と現代、戦前と戦後、思想と現実、政治と経済といった、しばしば異なるものと言われたり、対立したりすると想定されている諸要素の総合を求める。それ故、「知らない」ことよりも「対立する要素を結び付けられない」ことの方が、研究に進む上で致命的である。本出題はそうした諸要素の連結を求めるものである。それには幅広い基礎的知識を理解しておく必要がある。また、アジア主義を近代日本の侵略思想とのみ理解して終わりとしない思考の柔軟性も必要である。

以上